

形名	FHTS-41833-PD9
適合ランプ	東芝高周波点灯専用蛍光ランプ"メロウライン"(FHF32EX-N)
蓄電池	2-3NR-CY-LE-N

充電モニター
(充電表示灯) 付

このたびは東芝非常用照明器具・東芝階段通路誘導灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

・照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意


警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源線接続の際は、**⑤** 器具本体の取り付け②に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。



取り付け
よく読んでね!

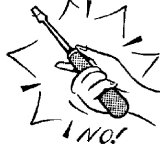
電源線接続

- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。



アース工事

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。



改造

- この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。



腐食性ガス


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

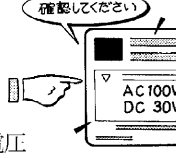
- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用すると、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。



5℃～35℃
の温度範囲で

温度
屋外

- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)



確認してください

電源電圧


お願い

- 器具は慎重に調整されています。取り付けの際、衝撃を与えないでください。
- この器具の電源は**昼夜連続給電**してください。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。
- この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池のコネクターをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- 内蔵蓄電池は、ご使用前に48時間以上充電してからお使いください。電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。
- 工事が終了してから、使用開始されるまで時間がある場合は、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし、保存してください。

東芝非常用照明器具・誘導灯点検カード

点検責任者

設置 年 月 日 設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能		・	外観 切替 性能	

充電モニター の保守、点検方法

- ① 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
- ② 充電モニターが消灯している時は蓄電池が充電されていません。蓄電池のコネクターははずれ、平常電源の開放がないか確認してください。
- ③ 充電モニターが点灯しない原因がわからない時には、お買い求め先、または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにご連絡ください。

●お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ

使用上のご注意

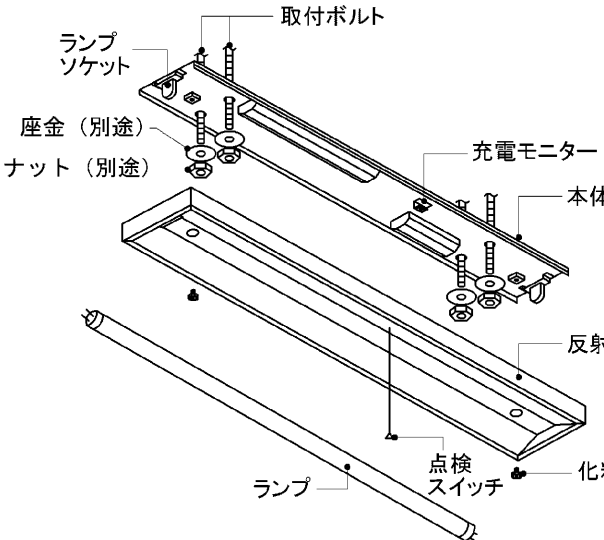
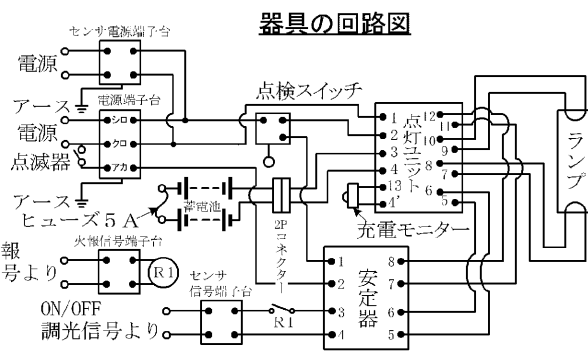
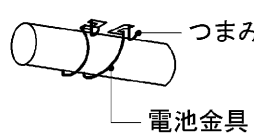
警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
● ランプ交換の際は必ず平常電源を切ってから行なってください。また、器具のお手入れの際は、必ず蓄電池のコネクターをはずし、平常電源を切ってください。感電の原因となります。	！ 電源を切って ● ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。  可燃物
● ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、“メロウライン”（FHF32）とご指定ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。（電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。）	 確認してください FHF32  Hf ランプ専用 ！ 適合ランプ
● この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、必ずコネクターをはずし、指定のものをご使用ください。蓄電池の指定以外のものの使用、分解、リード線の切断は、短絡、感電、蓄電池破裂の原因となりますのでおやめください。	！ 適合電池

</

お願い
●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。 ●3ヶ月に1回、定期的に非常点灯を行い点検カードにその結果を記入してください。(下の点検カードを切り取って使用してください。) ●点検スイッチの引きひもを引きますと、非常電源に切り替わり、非常点灯を確認できます。 ●定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が30分以下の場合には、内蔵の蓄電池を交換してください。 ●この製品には、ニカド蓄電池を使用しております。ニカド蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換及びご使用済み製品の破棄に際しては、ニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。 ●ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。 ●点灯装置の改造、部品の追加は絶対におやめください。 ●蓄電池のヒューズ交換の際には、定格5Aを使用してください。 ●長時間使用しないときは、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし、保存してください。 ●内蔵する蓄電池を有効に動作させるために、6ヶ月に1回充分な放電を行なってください。 ●点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換してください。 ●この器具は高温雰囲気中(140℃以上)で使用されたものは再使用できません。この場合は、新しい器具と交換してください。

 ニカド電池のリサイクルにご協力をお願いいたします。ご使用済みのニカド電池は、貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力をお願いします。

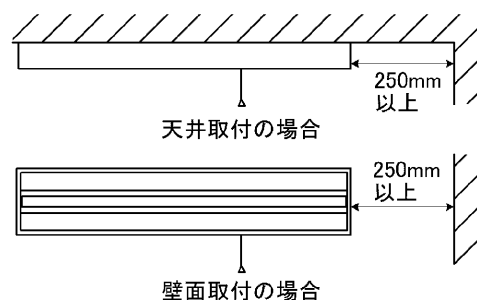
■各部のなまえ

器具質量 4.5kg 	器具の回路図  蓄電池の交換方法 両つまみを内側へつまみ、電池金具をはずすと蓄電池がはずれます。 
---	--

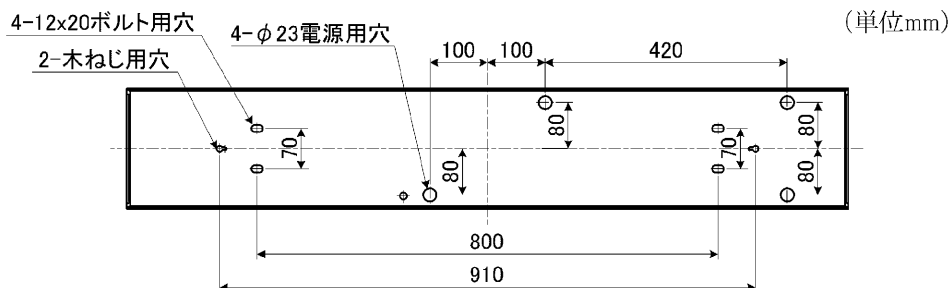
■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け場所

この器具は壁面・天井兼用取付タイプです。
器具の取り付けには右図のように壁面からはなして取り付け
てください。センサの取り付けができません。
器具はセンサ検知範囲に合わせた場所に施工してください。
センサ検知範囲については**東芝人感センサユニット親機DF-20209**又は**子機DF-20209Y**取扱説明書**■センサユニットの設置**
をご覧ください。



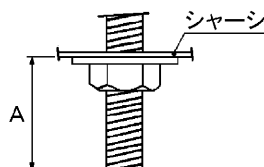
2 器具の取り付け寸法



※電源穴は、オフセンターとなっていますのでご注意ください。

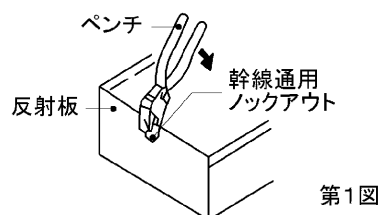
3 取付ボルトの器具内寸法

A寸法は、18mmを超えないようにしてください。

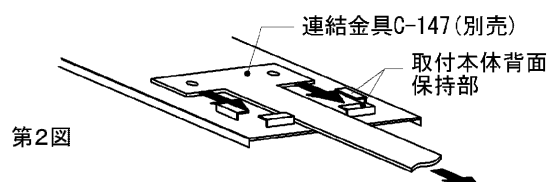


4 人感センサユニット（別売）の取り付けかた

- ① 器具本体又は反射板の幹線通用ノックアウト（両側）をペンチで切り離してください。（第1図）

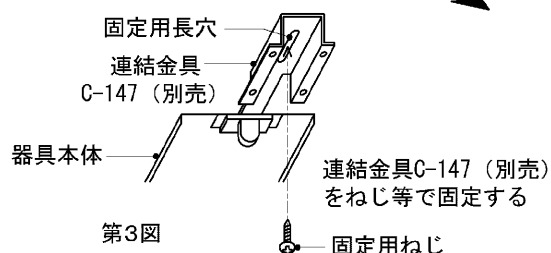


- ② 人感センサ連結金具C-147（別売）を器具本体背面両側の保持部に取り付けてください。（第2図）



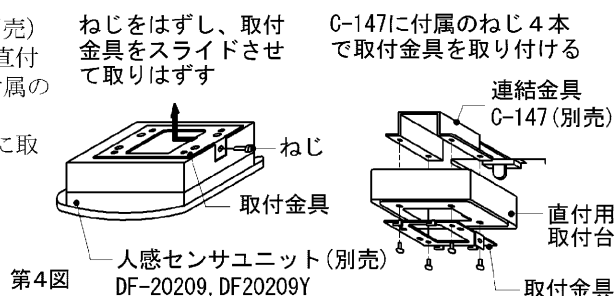
- ③ 器具本体と人感センサ連結金具C-147（別売）を取付面に固定してください。（第3図）器具本体の取り付けは次順 ⑤ 器具本体の取り付けをご覧ください。

注) 人感センサ連結金具C-147（別売）は固定用ねじで器具本体と平行に確実に取り付けてください。



- ④ 人感センサユニットDF-20209（別売）、DF-20209Y（別売）に固定されている取付金具のねじを取り外し、付属の直付用取付台と合わせ、センサ連結金具C-147（別売）に付属のねじ4本で固定します。（第4図）
壁取付の場合は必ず取付金具ねじが下向きになるように取り付けてください。

不備がありますと、落下の原因となります。



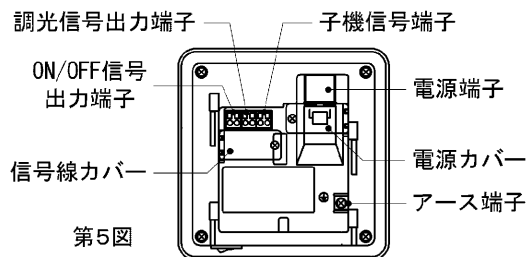
- ⑤ 人感センサユニットDF-20209（別売）の裏面の電源カバー、信号線カバーをはずし、各接続端子到人感センサ連結金具C-147（別売）に付属のⅠⅤ電線（シロ・クロ・ミドリ）を電源端子とアース端子へ、HⅠⅤ電線（アカ）を調光信号端子、HⅠⅤ電線（チャ）を子機信号端子へ接続し、電源カバー、信号線カバーを取り付けます。（第5図）

その時、ⅠⅤ電線（シロ・クロ・ミドリ）の通した保護チューブが、電線カバー内を通るようにしてください。

詳しくは東芝人感センサユニット親機DF-20209取扱説明書

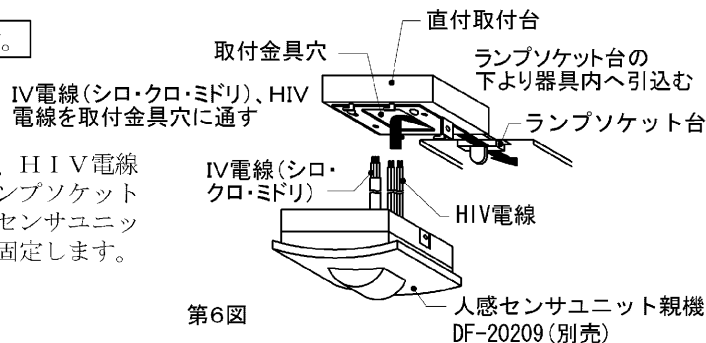
■取り付け方と配線をご覧ください。

不備がありますと、誤動作の原因となります。



第5図

- ⑥ ⑤で接続したⅠⅤ電線（シロ・クロ・ミドリ）、HⅠⅤ電線の片側を取付金具穴に通し、器具本体左側のランプソケット台の下より器具内へ引き込み（第6図）、人感センサユニットDF-20209（別売）を取付金具にねじで確実に固定します。



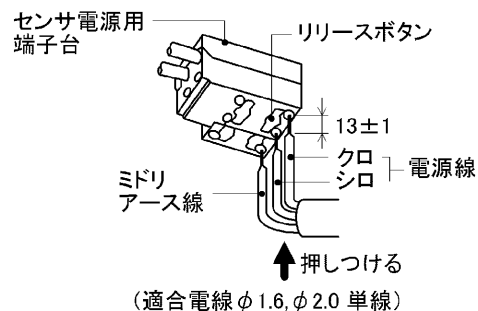
第6図

- ⑦ 器具内へ引き込んだⅠⅤ電線（シロ・クロ・ミドリ）を「センサ電源用」端子台へ、HⅠⅤ電線（アカ）を「センサ信号用」端子台に確実に差し込んでください。（第7図）電線が長い場合は丁度よい長さに切断して長さを調整してください。リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

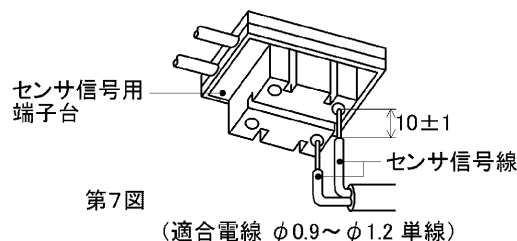
端子台の容量は20Aです。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。

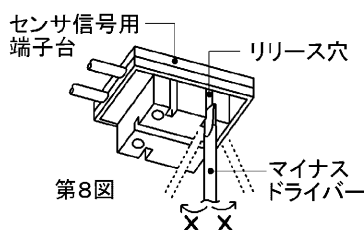


(適合電線φ1.6, φ2.0 単線)

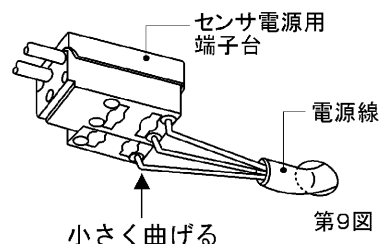
- (注) 1. ドライバーは端子台に垂直に押し込んでください。押し込み後、ドライバーを強く傾けると端子台が破損する場合があります。（第8図）
2. 電源線、アース線、センサ信号線の挿入部は、反射板との当たりを防ぐため小さく曲げ、端子台に押しつけてください。（第9図）



第7図

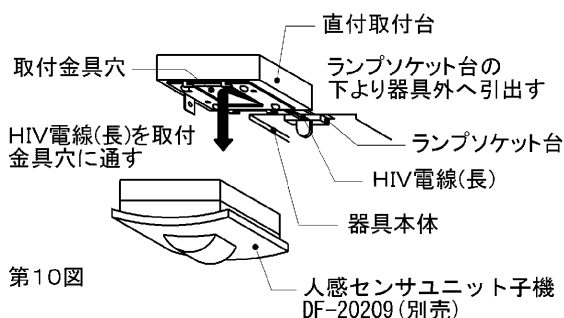


第8図



第9図

- ⑧ 器具内に引込んだHⅠⅤ電線（チャ）を反対側ランプソケット台の下より器具外引き出し、取付金具の穴に通します。（第10図）



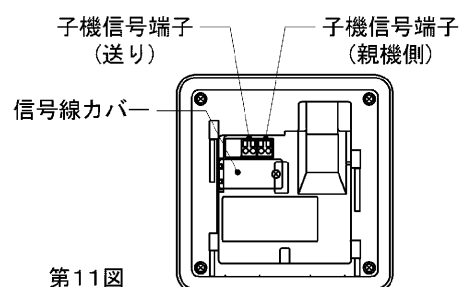
第10図

- ⑨ 人感センサーユニットDF-20209Y（別売）の裏面の信号線カバーをはずし、接続端子（親機）に接続し信号線カバーを取り付けます。（第11図）
詳しくは人感センサーユニット親機DF-20209Y取扱説明書■取り付け方と配線をご覧ください。

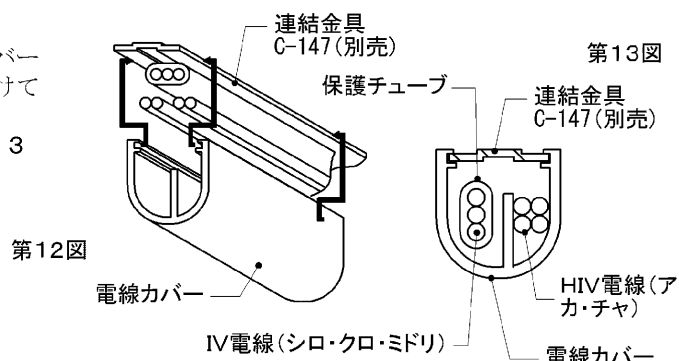
不備がありますと、誤動作の原因となります。

人感センサーユニットDF-20209Y（別売）を取付金具にねじで確実に固定します。

不備がありますと、落下の原因となります。



- ⑩ 人感センサー連結金具C-147（別売）に付属の電線カバーを連結金具C-147（別売）に確実にはめ込み取り付けてください。（第12図）
電線カバー内のHIV電線の配置については（第13図）の通り行ってください。



5 器具本体の取り付け

- ① 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。
（取付ボルトはW3/8またはM10を使用し外径22mm以下の座金を必ず入れてください。）

不備がありますと、器具落下の原因となります。

- ② 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、絶縁劣化や接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

端子台の容量は20Aです。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。

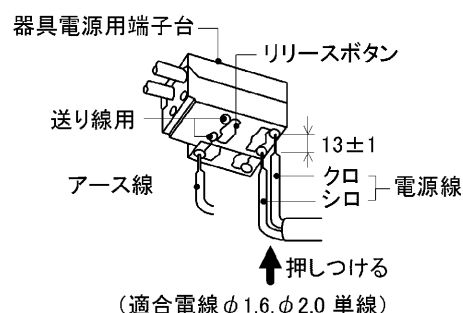
- ③ 電源線、アース線の挿入部は、反射板との当たりを防ぐため小さく曲げ、端子台に押しつけてください。
- ④ 点検スイッチ引きひもを反射板のスイッチ引きひも穴へ通したあと、反射板の両端角穴を本体ランプソケットに合わせ本体に確実に取り付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

1. 反射板を化粧ねじで本体に取り付けてください。
※反射板を強く押すと変形することがあります。
2. 天井面と密着を高めるときは、化粧ねじを右にまわして調整してください。
3. 反射板端部の幹線通用ロックアウトに人感センサー連結金具C-146（別売）が収まるように取り付けてください。

- ⑤ ランプを確実に取り付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

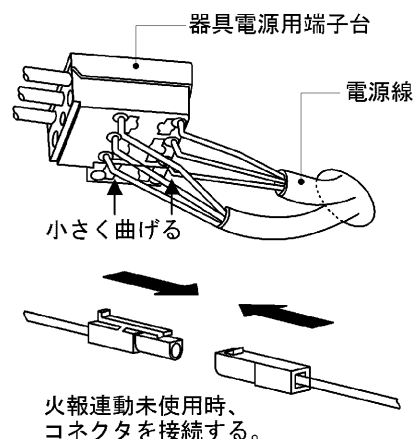


6 電源線・送り線の配線上の注意

送り配線を行う場合、特にφ2単線を使った3線Fケーブルをご使用になる場合には反射板との当たりを防ぐため、端子台への電源線、送り線の挿入部の線はできる限り小さく曲げ、端子台に押しつけてください。

7 火報連動について

火報連動を行う場合は、信号装置からの信号線（AC100V）を火災信号端子台に挿し込んでください。
火報連動を行わない場合は、コネクタを接続してください。

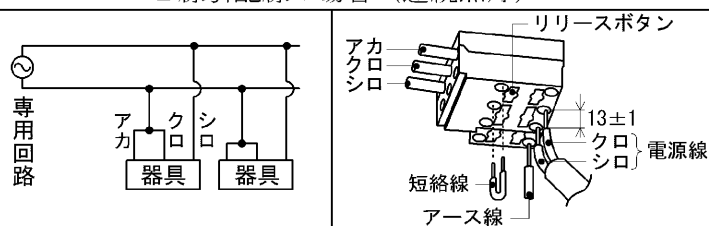


■配線方法

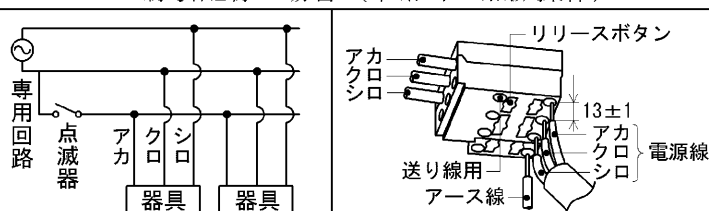
- 電源は必ず単相2線から配線してください。単相3線・3相3線からの配線は部品を焼損することがあります。
- 電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅器を設けないでください。

(適合線φ1.6, φ2.0 単線)

2線引配線の場合(連続点灯)



3線引配線の場合(平常時の点滅操作)



■仕様

形名		FHTS-41833-PD9
平常時	電源	交流50Hzまたは60Hz 100V - 242V
	入力電流 消費電力	0.53A - 0.22A 50W - 49W
	光源	FHF32EX-N×1
非常時	電源	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 2-3NR-CY-LE-N 7.2V 3000mAh
	光源	FHF32EX-N×1
	非常時光束	定格出力 3520 lmの60%点灯

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)

受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料: 有料)

FAX 0570-000-661 (通信料: 有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 施設照明担当 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL (03) 5479-1071 FAX (03) 5479-3393

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001E963G

点検のポイント

- ① 外観チェック
(1) 充電モニターが点灯していますか。
(2) 光源、表示板などは汚れていませんか。
- ② 切替動作チェック
点検スイッチを引いてください。
非常点灯に切り替わりますか。
- ③ 性能チェック
点灯持続時間
非常灯点灯切替後30分間点灯が持続しますか。

注意事項

- ① 電源は昼夜連続給電願います。
- ② 3ヶ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
- ③ 点灯持続時間のチェックを行い、性能が満足しないときは器具に内蔵されている同一形名の蓄電池と交換してください。
※交換した古い蓄電池はすてないで買い求め先または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにお渡しください。
- ④ 万うまく動作しない場合、原因がわからない時には買い求め先または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにご連絡ください。